

消防団を知ろう!

みんなのまちにもある消防団のアレコレについて「んだッチ」といっしょに消防団員みなさんに教わりました!

1

消防団ってなあに?

火事や地震、台風などの災害から、地域みなさんの安全と安心を守るために、さまざまな活動をしているのが「消防団」です。日本のほとんどの市町村にあるので、みんなの住んでいるまちにも消防団があります。

制服を着て活動しています!

2

消防署と消防団ってちがうの?

災害からみんなを守ることを専門にしているのが「消防署」。その消防署で働く人たちが「消防士」と呼びます。一方、ふだんは会社員や農家など別の仕事をしている地域の人が、災害が起こったときに集まって活動するのが「消防団」。その消防団に参加している人たちが「消防団員」です。消防士と消防団員は、いろいろと協力しながら活動しています。

消防団員

消防署員



消火活動

火事からみんなを守ります。

捜索・救助活動

人探しや家の下じきになった人を助けます。

消火・防災訓練

消火のために放水の訓練をします。

防火啓発活動

学校などで防災の方法を教えます。

救命講習会

応急手当やAEDの使い方を教えます。

4

消防団員になりたい!

ほとんどの市町村では、消防団のある町に住んでいたり、働いていたり、学校に通ったりしている18才以上の人なら、男の人でも女の人でも消防団員になることができます。消防団には会社員や近所のお母さん、大学生など、いろいろな人が集まって、力を合わせて活動しています。

3

消防団員の活動を教えて。

消防団員は火事のときに火を消したり、大きな地震や水害が起きたときに困っている人を助ける活動をしています。また、災害がないときには、消防や防災の勉強をして、ケガの手当てや防火の方法などを学校やまちの集会所でみんなに教える活動をしています。

消防団員ってすごいね!

